

小平西のきずな

「小平西地区地域ネットワーク」ニュース No. 47

2023年9月26日（火）発行

発行責任者:草野篤子(白梅学園大学)

TEL: 042-346-5639

住所:〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

白梅フードパントリーのご紹介

白梅学園理事 細江 卓朗

2020年から新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し、今までの生活は一変しました。



学生や生徒への直接的影響としては、アルバイトの減少（経済的影響）、ボランティアの減少（教育機会の減少）、オンライン授業による友達との交流の減少（関係性への影響）などがあります。

また保護者で大きな経済的影響を受けた方もおられます。

白梅学園大学では、困窮状態にある学生の支援を目的に、フードパントリーを2020年12月に初めて開催しました。利用者への出口調査では、ほぼ全員が継続を希望しており、毎月月末の月曜、火曜に開催することを決定しました。

小平西地区ネットワークって何？

2012年3月17日に白梅学園大学関係者が様々なNPO、ボランティア団体、民生・児童委員、町内会、大学・学校などに関係する方々に呼びかけて「お互いの顔が見える人間関係が豊かな地域づくり」を目指して立ち上げました。個人ベース(団体の担当者でも可)の加入を基本とする開かれたネットワークです。市民の皆さん一緒に活動に参加なさいませんか？



名称はフードパントリーですが、ティッシュペーパー、衛生用品などの生活用品も提供しています。食料や生活用品はフードバンク TAMA、小平市社会福祉協議会、大学のみならず白梅高校、白梅清修一貫部の教職員や一般市民からいただいています。

研究、授業、学生指導など唯でさえ忙しい教員が、自分の車で品物をもらいに行っておられるのを知り、僕も2021年2月から手伝うことにしました。

人気の高い野菜は、白梅の退職教員の農場からご夫妻が毎月運んでくださいます。青梅街道沿いの農家には当日朝もらいに行き、教員の住む八王子の農家から教員が運んできます。回数を重ねるに従い品物の陳列、野菜の小分けなどを学生がアルバイトとして担当してくれています。



この7月の参加者は73名、8月は18名でした。夏休みや年末などは、利用者が少ないので休みにしようか？との話もありましたが、1か月間

隔が空くと困る学生は本当に困るのではないかと考え、休まず続けています。

物資を提供していただいている方への感謝の気持ちと、欲しい物をメッセージカードに記入してもらい、次回に希望の品を揃える様にしています。余った野菜などは、児童養護施設、社会的養護のアフターケア相談所ゆずりは、障がい者グループホーム、子ども食堂などに届けています。

白梅学園の建学の精神は「ヒューマンイズム」です。教職員と学生の距離が短く、教職員がコアとなり熱い思いで取り組んでいます。2年9か月も継続している大学は、恐らく白梅学園大学だけだと思います。

改めて、ご支援いただいている大勢の関係者の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

第2きよかプロジェクト

吉田徹(第2きよか副代表)

2023年6月12日、小平市小川町一丁目の武蔵野鷹の台ガーデンハウス106号室にて、第2きよかの試験的開場が行われた。これは、2020年10月に幕を閉じたほっとスペースきよかを引き継ぐことを目指して、瀧口優氏のご厚意により、自宅を提供していただき、4月24日と、5月22日に準備会が行なわれた。当面は、スタッフ、口コミによる参加者のみを対象とし、月1回(原則第1月曜日)開催として、6月の開設にこぎ着けた。

前身のほっとスペースきよかは、2015年5月、小川町1丁目790の北沢邸を借りて、オープン。(ちなみにきよかは、故北沢きよかさんのお名前を使わせてもらったもの。)小平西地区地域ネットワークの地域サロンとしては、ほっとスペースさつき、アットホーム萩に次ぎ、当初から草履づくり、海苔巻きづくりなどのイベントを開催。またお茶とお菓子だけのもてなしから、近くに食事処がないことから、昼食を用意するようになった、これが、ほかのさつきや、萩はもちろん、小平市内の他のサロンにはない、きよか独自の特色となっていく。

大きな転機は、2020年のコロナ禍であった。学校などが休校する中で、密閉、密集、密接が避けられない地域サロンを継続することはとても出来なかった。はじめは、数か月、長くても1年は続かないという予測のもと、とりえず休業ということで、一般参加はやめ、スタッフで運営会議のみを続けていたところ、決定的な知らせが飛び込んできた。それは、家主の北沢さんより、この北沢邸を売却したいとの通知だった。北沢さんは当時横浜在住で、故きよかさんの思い出が詰まった北沢邸をそのまま残す意向だったが、事情が変わったとのことだった。もちろん、北沢さんのご厚意に基づいていた以上、この申し出には従うしかなく、きよかは、2020年10月、約5年間の活動の幕を下ろしたのである。

このきよかの共同代表の一人であり、文字通り粉骨砕身、寝食を忘れて運営に奮闘したのが、石川貞子さんであった。元小学校の教諭、退職後、民生委員・児童委員などを歴任、自分のことは二の次にして、他人のために奔走する日々であった。

ただ、残念なことに第2きよかに、彼女の顔はない。貞子さんは、昨年7月9日にガンで73歳9か月の人生の幕を閉じた。あまりにも早い逝去だった。

その喪失感は、元きよかスタッフの間でもあまりにも重く、ようやく1年を過ぎる頃になって、第2きよかの話が持

ち上がることになったとも言える。この第2きよかも、「地域の居場所」だったきよかの遺志を継ぐことを第一の目的として、活動を開始することになる。

9月以降は、第一月曜日の13時半から開設。10月からは、正式なオープンとしてチラシも配布の予定です。

子育て広場「7月あそぼうかい」

「暑さを吹き飛ばそう！ 夏を先取り 白梅えんにち」

市川果歩 白梅学園大学子ども学科 1年

2023年7月22日に、あそぼうかい&世代間交流を開催しました。今回のテーマは「暑さを吹き飛ばそう！ 夏を先取り 白梅えんにち」と題し、暑い夏の日、涼しさを感じるような装飾の中で、日本のお祭りを体験することができるような空間を目標に準備を進めてきました。当日には多くの方にお越しいただき、楽しんでもらうことができました。



あそぼうかいでは、5つのコーナーが展開されています。7月あそぼうかいでのそれぞれのコーナーの様子をご紹介します。

参加者の方々に一番最初に関わる「受付コーナー」では、海や提灯、花火など夏をイメージした装飾を行い、可愛いおばけの名札作りをしました。また、スイカに見立てたバックを配布し、より夏を感じられるような工夫をしました。

「制作コーナー」では、ひまわり畑をイメージした内装でえんにちならではのうさぎやくまなどのお面を作りました。

くつろぎの空間である「ホッとスペース」では、夜をイメージし、プラネタリウムを作って、子どもたちは満天の星空を眺めることができました。また、風船を圧縮袋に入れて割れないように工夫をしながら、風船クッションを作りました。

思い切り遊ぶための「あそびコーナー」では、金魚すくいや射的、ボーリングなどさまざまな遊びが展開され、お祭りで遊ぶ屋台を体験してもらいました。



あそぼうかいの締めくくりとなる「おわりのつどい」では、白梅神社のえんにちにきた子どもたちがさまざまな妖怪たちと出会うという劇を行い

ました。クイズをおり混ぜながらストーリーを進め、最後には全員で盆踊りを踊りました。

これら5つのコーナーを参加者の方楽しんでいただくと共に、学生も参加者の方との関わりからさまざまなことを学ぶことができる非常にいい場となりました。次回のあそぼうかい（11月25日

予定）も、参加者の方に「また来たい」と思っただけのような、また、笑顔になっていただけるようなイベントにしていきたいです。

*白梅祭10月21日（土）22日（日）も子育て広場をやります。ぜひご参加ください。

ルネ小平夏休みフェスタ

出張あそぼう会

白梅学園短期大学2年 日景映香

2023年8月20日、ルネこだいらで行われたルネこだいら夏休みフェスタ。今年も、白梅子育て広場は、出張あそぼうかいとして参加させて頂きました。今回のテーマは「ワッショイ/白梅出店まつり～夏を満喫しよう～」と題し、海の生き物たちで装飾した部屋で遊びと制作を行いました。



遊びはボーリング・釣り・ボール入れの3つのコーナー。制作はオリジナルのお弁当作り。それぞれのコーナーで遊びを楽しむと、お弁当の具材の引き換え券が貰えるルールとしました。具材は毛糸を麵に見立てた焼きそば、紙コップに画用紙を巻いたプリンなど、身近な素材を使ってお弁当に



入っていたら嬉しいものを学生たちが考え、用意しました。おにぎりやぶどうはあえて材料の画用紙のまま用意し、子どもたちが自分で作ることを楽しめるよう企画しました。

今回私たちは、子どもたちに納得のいくまで遊んでもらいたいと考え、「何度でも繰り返し遊び、作って良い」と言うルールを設定しました。そのため夏休み中も連日集まり、遊びコーナーや具材の準備を続けていました。



当日は想定以上に何度も遊びと制作を楽しんでくれた子どもたちが多く、その集中力に驚かされました。十分に用意したタコさんウインナーは、あまりの人気ぶりで途中でなくなってしまうハプニングもありましたが、子どもたちにも協力してもらいながら制作し、満足するまでオリジナルのお弁当作りを楽しんでもらうことが出来ました。

参加者さんの中には今回のルネフェスで、初めて白梅子育て広場を知って下さったという方もい

らっしゃいました。「保育園や幼稚園には入っていないので、遊んで貰える場があって嬉しい。また参加します。」と声をかけて頂いた時、地域に開けた遊び場の必要性和、地域の繋がり大切さを感じました。

これからも白梅子育て広場の一員として、地域の暖かさを感じて頂けるような活動を続けて行きたいです。

ケアラーサロンin白梅

開催しています！

白梅学園大学・白梅学園短期大学ヤングケアラープロジェクト（子ども学研究所 特定課題研究 2022～2024 年度）では、NPO 法人介護者サポートネットワークセンター・アラジンとの共催で、2023 年 6 月 27 日（火）から毎月 1 回「ケアラーサロン in 白梅」を開催しております。同日の 12:10～13:00 の時間帯は白梅学園内でのフードパントリーを開催しており、その後の 13 時～14 時がサロンの時間です。場所は、白梅学園大学・白梅学園短期大学 旧・若葉寮の 1 階です。

ケアをしている・ケアに興味がある・かつて誰かのケアをしていたなど、「ケアラーについておしゃべりをしてみませんか」。毎回、15 分～20 分程度、

ケアラーのこと、地域のことなど、話題提供者からのお話があります。

10 月 24 日（火）・11 月 28 日（火）・12 月 19 日（火）13 時～開催予定です。

学園外の方は、上記の QR コードでお申し込みください。オンライン参加も OK です。



第 2 回コミュニティカフェを開催しました

白梅学園大学子ども学部家族・地域支援学科

土橋 星哉

2023 年 6 月 21 日（水）、世代間交流論の授業の一環として今年度 2 回目となるコミュニティカフェを開催しました。白梅学園大学の I13 教室にて、11 時から 12 時の間に「自己紹介カード作り」と「狙って投げよう～ポッチャ」という二部構成で休憩を挟みながら楽しい雰囲気の中行われました。

前回の第 1 回目のコミュニティカフェでは、「自己紹介」と「スクラッチアート」を企画し、体を

あまり動かさずに行う企画でしたが、今回は学生自作の自己紹介カードや、自作のボールと的使用し、アクティブに疑似ポッチャを行いました。

自己紹介ではお話が盛り上がることも多く、あっという間に時間がたってしまうほど充実した時間でした。

ポッチャでは学生を含めた複数人を4つのチームに分け二つのコートでゲームを行いました。準備段階では一回目の反省を改善し、企画を行う部分だけではなく、部屋にいらっしゃるまでの配慮や、握りやすいボールの大きさ重さ、チラシの視覚的効果、わかりやすく伝える方法など沢山の試行錯誤と話し合いの中進められてきました。課題もまだまだ出てくる中、ゲームや会話を盛り上げたり、自分とは違った年齢の方の話聞くことで知見を広げたり、経験することで得ることができるものもとても多かったです。そのような意味では質の良いコミュニティカフェにすることができたのではないのでしょうか。

最後に、この度は暑い中コミュニティカフェにお越しいただき本当にありがとうございました。学生も勉強になることばかりでした。次回のコミュニティカフェにもご参集していただければ幸いです。

です。心よりお待ちしております。お問い合わせは下記まで。

電話：042-313-5053 メール：moriyama@shiraume.ac.jp 森山千賀子

*年内は、11月8日(水)・12月6日(水) いずれも11時~12時 I13 講義室で行います。



小平西地区地域ネットワーク

2023 白梅祭企画

毎年10月に開催される白梅学園大学・短期大学の学園祭「白梅祭」ですが、コロナ禍のためにオンライン開催であったり、一部対面開催であったりしましたが、今年度は対面での開催となり、大学のサークルやゼミなども準備しています。

小平西地区地域ネットワーク(西ネット)は例年居場所と展示を行ってききましたが、今年度は少しイメージを変えてみんなで踊ってみんなで歌おうというコーナーを設けました。コロナ禍で踊ったり声を出すことがむずかしい状態が続いていました。まだまだ感染は心配ですが、対策を施しながら大いに楽しみたいと思います。

また展示では西ネットがこの1年間発行してきた



「小平西のきずな」を展示し、地域で行っている活動について紹介します。地域の方々の居場所として

ゆっくり語り合えるように机も配置します。ぜひ気楽にご参加ください。お待ちしております。

◆2023年10月21日(土)・22日(日)：10時~15時

B棟2階22講義室

◆テーマ：おくればせの盆踊りと秋の歌

◆おやすみ処、「西のきずな」の展示もあります。

遊歩堂珈琲を紹介します



西武拝島線の東大和駅から青梅街道を小平に向かって50メートル歩くと左側に「遊歩堂珈琲」があります。別名Café & wildlife galleryとなっています。そのcaféに夏のある日に出かけてみました。小川西公民館で店長の里中さんに話を聞いて関心を持ったからです。里中さんによると小平市周辺には様々な動物が生息していて、共存するにはどうしたら良いかを熱く語っていました。

武蔵野美術大学の正門前の自宅から歩くと25分程度かかりますが、今回は自転車で訪問しました。入り口を入るといくつか座席があり、左手には自然に関する掲示がある。一番驚いたのはフロアにカメがいて、客である私たちに「歓迎」？のあいさつをしてくれる。

自然を大事にというときには植物に目が行きがちであるが、この遊歩堂は動物の自然を守ることを考えている。

珈琲店ではあるが食事も可能なのでカレーライスをたのんで昼食にした。一度西ネットでも話をしてもらったらと考えている。

関東大震災の問題を考える歌

金田利子

(9月1日は関東大震災の「忘れじの日」です。虐殺の事実の罪はもちろん、ひきつがれてきた差別観の歴史に杭を打ちたいと思い、この秋の歌はこのことに焦点を置きました。)

- ◆ 9.1は関東震災誤った 歴史の伝えが差別引き継ぐ
- ◆ 「丁か半か」答えが違えば虐殺し 朝鮮人が怖いと流す
- ◆ この誤解子らに告げられ引き継がれ ヘイトスピーチ引き起こす根に
- ◆ 虐殺の罪に加えた差別観 乗り越えるまで「清算」はない

皆さん、コミュニティ・サロン(下の①～④)と「中学生勉強会」(④)に足を運んでみませんか?

お待ちしております!

① ほっとスペースさつき

毎週火曜と木曜 10:00~16:00 (移転先検討中) 問合せ: 渡辺 穂積 TEL: 042-344-7412

② ほっとスペース第二きよか

毎月第二月曜 13:30~15:00 参加費 200円 (移転先: 小平市小川町 1-755-2-106) 問合せ: 瀧口優 TEL: 080-3450-6878

*2023年7月10日(月) ほっとスペース第二きよかがスタートしました。参加費 200円

*9月からは第一月曜に実施しています。(10月02日、11月06日、12月04日、1月15日、2月05日) 13時30分~15時30分

③ カフェなかじま

毎月第1水曜日(祝日の場合は第2水曜日) 13:30~15:30 中島地域センター 参加費 100円

④ 「分かった会」小中無料学習教室

毎週木曜日 18:00~20:00 (小川公民館) 問合せ: 奈良 勝行 (講師募集中!) TEL: 090-4435-4306

9月からは火曜日も中学校3年生用として開室しています。

イベントの予定

- ・10月07日(土) 10時~08日(日) 小川西公民館祭り
- ・10月21日(土) 10時~ 白梅祭(白梅学園大学・短期大学)
- ・10月22日(日) 10時~ 白梅祭(白梅学園大学・短期大学)
- ・10月28日(土) 10時~ 小平第一小学校150周年記念式典
- ・11月25日(土) 13時30分~ 白梅子育て広場

西ネットの今後の予定

- 大学世話人会: 10月03日(火) 18時~
- 地域世話人会: 11月07日(火) 18時~
- 大学世話人会: 11月28日(火) 18時~
- 地域懇談会: 12月18日(火) 18時~
- 大学世話人会: 01月09日(火) 18時~

西ネットの世話人

ブロック	地域世話人	大学世話人
1	西 克彦・丸山安三	瀧口 優・杉本豊和 福丸由佳
2	足立隆子・芳井正彦・ 今野志保子	午頭潤子・土川洋子 吉村季織
3	大内智恵子・久保田進・ 穂積健児・ 杉浦博道・ 吉田徹	金田利子・草野篤子 西方規恵・牧野昂哲
4	桜田 誠・萩谷洋子 細江卓朗・渡辺穂積	井原哲人・森山千賀子
全体		奈良勝行

お願い: この広報紙『小平西のきずな』の編集方針は、「顔の見えるネットワークづくり」を目指して参加団体(者)の活動などを紹介し、文字通り「市民のきずな」を築いていこうとするものです。ニュースの全部または一部を改編することはお断りします。もし使用したい場合は編集担当までお申し出下さい。

投稿募集: このニューズレターは皆さんと一緒に作るものです。活動の報告やイベントの企画などについての原稿をお寄せください(奈良勝行)。

メール: ever.onward.nara@xd5.so-net.ne.jp

編集後記: 「小平西のきずな」も今回で47号を迎えます。コロナ禍がはじまって3年半が経過し、日本社会も新しい動きをすすめています。地域でも対面で集まる機会が増えています。多くの方が「会いたい」「話したい」と思っています。徐々に枠を広げて行けたらと思います(瀧口)。